

ポスター発表

発表時間 奇数番 9月23日(日) 12:00 ~ 12:45

偶数番 9月23日(日) 12:45 ~ 13:30

果 樹

- P001 カンキツ新品種 ‘あすみ’
○喜多正幸¹・根角博久²・吉岡照高¹・國賀武²・中嶋直子³・太田智¹・濱田宏子¹・瀧下文孝¹
(¹農研機構果樹研,²農研機構近中四農研,³農研機構本部)
- P002 SSR マーカーを利用したカンキツ交雑胚の早期選抜および品種判別
○田嶋皓¹・中地克之¹・萩平淳也^{1*}・山田芳裕¹・清水徳朗²
(¹和歌山県果樹試,*和歌山県経営支援課,²農研機構果樹研)
- P003 核 SSR および葉緑体 DNA 配列によるレモンおよび香酸カンキツ類の多様性解析
○中野道治¹・清水徳朗²・須川瞬³・金好純子³・北島宣¹・喜多正幸²・吉岡照高²
(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹研,³広島総研農技セ)
- P004 カンキツ果実における UDP- グルコース : リモノイド糖転移酵素遺伝子 *LGT* 発現の eQTL 解析
○原田健太郎¹・生駒吉識²・喜多正幸²・吉岡照高²・藤井浩²・遠藤朋子²・島田武彦²・清水徳朗²・尾崎嘉彦^{2*}・長谷川信³・大村三男¹ (¹静岡大農学部,²農研機構果樹研,³元 USDA,*近畿大)
- P005 カンキツ培養カルスにおける体細胞胚誘導過程での *AIL* 様遺伝子の発現
○梅田淳平¹・中野道治^{2*}・遠藤朋子²・島田武彦²・藤井浩²・清水徳朗²・大村三男¹
(¹静岡大農学部,²農研機構果樹研,*京都大院農学研究科)
- P006 カンキツ多胚性制御遺伝子座領域における候補 ORF の組織別発現プロファイル解析
○大同原野¹・中野道治^{2*}・喜多正幸²・吉岡照高²・藤井浩²・遠藤朋子²・島田武彦²・清水徳朗²・大村三男¹
(¹静岡大農学部,²農研機構果樹研,*京都大院農学研究科)
- P007 トマト系枝変わり品種 ‘盛田温州’ における *CitAP2* 遺伝子および *CitWRKY1* 遺伝子の発現特性の解析
○田村誠也¹・遠藤朋子²・島田武彦²・藤井浩²・清水徳朗²・喜多正幸²・吉岡照高²・大村三男¹
(¹静岡大農学部,²農研機構果樹研)
- P008 カンキツの自家不和合性対立遺伝子 S_4 と S_5 をもつ品種群のさらなる同定とその関係
○佐藤まゆみ¹・Etty Handayani²・若菜章³・宮崎理子¹・金貞希³・酒井かおり³・梶原康平¹
(¹九州大農学部,²九州大院生物資源環境科学府,³九州大院農学研究科)
- P009 満開から収穫までの気象条件が ‘青島温州’ の果実比重に及ぼす影響
○高橋哲也・菊池佑弥・白井由紀 (静岡農林技研果樹研セ)
- P010 複数園地におけるジベレリンとプロヒドロジャスモンの混用処理による中生ウンシュウミカンの浮皮軽減効果
○中谷章¹・山田芳裕¹・萩平淳也² (¹和歌山果樹試,²和歌山農林部)
- P011 周年マルチ点滴かん水法が露地栽培レモンの早期出荷期の収量と果実品質に及ぼす効果
○塩田俊・赤阪信二 (広島総研農技セ)
- P012 パッチ型シートによる容易・安価・明解な植物水分状態の評価手法の開発
○星典宏¹・横井秀輔²・浜出絵理子³・根角博久¹ (¹農研機構近中四農研,²ライフケア技研(株))
- P013 カンキツ類の自家不和合性に及ぼす温度の影響
○河埜祥太¹・安部秋晴¹・内田飛香²・國武久登¹ (¹宮崎大農学部,²宮崎大院農学工学総合研究科)
- P014 ウンシュウミカンの果実品質に及ぼす天然型アブシジン酸土壌散布と水ストレスの影響
○河合義隆・山下洋輔・藤澤弘幸 (東京農大農学部)
- P015 カンキツウイルス III 接種がウンシュウミカン ‘宮川早生’ の果実品質に及ぼす効果
○河野貴幸¹・水谷房雄¹・佐山春樹²・高柳直幸³・佐野輝男⁴
(¹愛媛大農学部,²キッコーマン研究開発本部,³日本デルモンテ商品技術開発部,⁴弘前大農学生命科学部)
- P016 ネイハキンカンの花芽分化に及ぼす土壌乾燥処理と大気相対湿度の影響
○中野優輝¹・鈴木香²・望月あづみ²・岩崎直人² (¹明治大院農学研究科,²明治大農学部)
- P017 カワラヨモギ抽出物に含まれるエチレン生成抑制物質
水谷房雄¹・〇川口浩¹・大嶋悟士²・井上久雄³ (¹愛媛大農学部,²阪本薬品工業(株),³愛媛農研果樹研セミかん研)

- P018 ウンシュウミカン硬果皮果実の発生に及ぼす初夏における水ストレスの影響
○向井啓雄・服部憲明・一木信彦・金星官・八幡昌紀・原田久・高木敏彦（静岡大農学部）
- P019 ‘青島’ ウンシュウミカン園における有機土壌栽培管理が果実品質、土壌栄養と雑草の生育に及ぼす影響
○シュレスタ アルジュン クマル・水谷房雄（愛媛大農学部）
- P020 HY5 のシグナル伝達は除袋後のリンゴ（‘陸奥’）果皮のアントシアニン集積に関与する
○白松齡¹・齋藤隆徳^{1,2}・本多親子¹・伊東明子¹・森口卓哉^{1,2}（¹農研機構果樹研,²筑波大院生命環境科学研究科）
- P021 リンゴ‘ゴールデン・デリシャス’と‘世界一’は‘王林’と同一の斑点落葉病罹病性遺伝子を有する
○阿部和幸・森谷茂樹・岡田和馬・岩波宏・土師岳（農研機構果樹研（盛岡））
- P022 果肉の赤いリンゴ‘紅の夢’、‘御所川原’の果肉着色に及ぼす光の影響
○向後智陽¹・小林達^{1*}・藤田知道¹・佐藤早希¹・前多隼人²・荒川修²・松本和浩¹
（¹弘前大農学生命科学部藤崎農場,²弘前大農学生命科学部,*青森産技セリんご研）
- P023 果肉の赤いリンゴ‘紅の夢’の果皮に発生する斑点状障害は袋かけにより抑制できる
○小林達^{*}・向後智陽・藤田知道・佐藤早希・松本和浩（弘前大農学生命科学部藤崎農場,*青森産技セリんご研）
- P024 冬期の加温および補光がリンゴ実生の成長に与える影響
○高岸香里¹・土門薫¹・秦広和²・渡邊学³・壽松木章・小森貞男
（¹岩手大農学部,²岩手大院農学研究科,³岩手大附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ）
- P025 アポミクシス性を示す *Malus hupehensis* および *M. sikkimensis* の特性
○押野秀美¹・高岸香里²・加藤藍²・浦中慶大²・森谷茂樹³・阿部和幸³・滋田徳美⁴・山本俊哉⁴・壽松木章²・小森貞男²（¹岩手大院農学研究科,²岩手大農学部,³農研機構果樹研（盛岡）,⁴農研機構果樹研）
- P026 環境ストレスがブドウのプロロン合成に及ぼす影響
○堀内春香・上条奈津子・中島祐子・鈴木俊二（山梨大ワイン研セ）
- P027 夜温と光条件の違いが「巨峰」果実の着色に及ぼす影響
○四宮亮・白石美樹夫・千々和浩幸・石坂晃・粟村光男（福岡農総試）
- P028 ブドウ‘シャインマスカット’の収穫適期の把握と専用カラーチャートの開発
○小林和司¹・宇土幸伸¹・鈴木文晃²・串田賢一²（¹山梨果樹試,²山梨工技セ）
- P029 自発休眠覚醒後の‘シャインマスカット’の生育ステージと温度の関係
○杉浦裕義・東暁史・山崎安津・薬師寺博（農研機構果樹研）
- P030 温度・遮光条件がブドウ培養果粒の着色および糖度に及ぼす影響
○薬師寺博・東暁史・杉浦裕義・山崎安津（農研機構果樹研）
- P031 保湿性果実袋の利用がブドウ‘シャインマスカット’の果皮褐変障害および果実形質に及ぼす影響
○浜名洋司・須川瞬（広島総研農技セ）
- P032 環状剥皮処理がブドウ‘BK シードレス’の果実品質に及ぼす影響
○梶原康平¹・福留功¹・酒井かおり²・比良松道一²・若菜章²（¹九州大農学部,²九州大院農学研究科）
- P033 ブドウ成葉の切れ込み upper lateral sinus 形成メカニズム
○高遠遥・鈴木俊二（山梨大ワイン研セ）
- P034 ニホンナシ‘今村秋’の異なる発育段階の子葉を用いた形質転換
○中島育子^{1*}・伊東明子¹・今井剛¹・齋藤寿広¹・森口卓哉^{1*}・山本俊哉^{1*}
（¹農研機構果樹研,*筑波大院生命環境科学研究科）
- P035 ニホンナシ‘豊水’と‘新高’の自発休眠期における *DAM*, *FT* および *TFL1* の発現解析
○齋藤隆徳^{1,2}・阪本大輔²・伊東明子²・今井剛²・中島育子²・齋藤寿広²・森口卓哉^{1,2}
（¹筑波大院生命環境科学研究科,²農研機構果樹研）
- P036 遺伝子マーカーによる長野県育成のニホンナシ9系統のS遺伝子型と来歴の確認
○小仁所邦彦¹・山本俊哉²・寺上伸吾²・今川昌平¹（¹長野南信農試,²農研機構果樹研）
- P037 異なる自発休眠特性を有するニホンナシ系統におけるCBF遺伝子上流領域の構造比較
○今井剛¹・齋藤隆徳²・伊東明子¹・中島育子¹・森口卓哉^{1,2}（¹農研機構果樹研,²筑波大院生命環境）
- P038 自発休眠期間中のニホンナシ「幸水」の新梢および腋花芽における糖代謝の動態の解明
○伊東明子・阪本大輔・中島育子・今井剛・森口卓哉（農研機構果樹研）
- P039 鹿児島県におけるニホンナシ「豊水」の発芽不良の発生実態
○藤川和博¹・阪本大輔²・東明弘¹（¹鹿児島県農開総セ果樹北産,²農研機構果樹研）
- P040 ニホンナシ自家和合性品種3品種の開花特性
○松本辰也・根津潔（新潟農総研園研セ）
- P041 小型モバイルMRIによるニホンナシ萎縮症の早期診断
○弦間洋¹・坂田麻衣¹・木村武史²・瀬古澤由彦¹・菅谷純子¹・巨瀬勝美²（¹筑波大生命環境系,²筑波大数理物質系）

- P042 セイヨウナシ ‘ラ・フランス’ 果実におけるオミクス統合解析の試み
 ○大塚貴生¹・中林亮¹・軸丸裕介¹・高品善²・五十鈴川寛司²・村山秀樹³・斉藤和季^{1,4}・白武勝裕⁵・及川彰^{1,3}
 (理研 PSC,²山形農総研セ園試,³山形大農学部,⁴千葉大院薬学研究院,⁵名古屋大院生命農学研究科)
- P043 セイヨウナシ ‘ル・レクチエ’ における果実成長中の内生植物ホルモン (第4報)
 ○福田陽子¹・松本辰也²・児島清秀¹ (新潟大院自然科学研究科,²新潟農総研園研セ)
- P044 モモ ‘あかつき’ 樹体内に移行済みの放射性セシウムの次年度における分配
 ○高田大輔¹・佐藤守²・安部和博²・田野井慶太郎¹・小林奈通子¹・安永理子¹・佐々木治人¹・中西友子¹・大下誠一¹
 (東京大院農学生命科学研究科,²福島果樹研)
- P045 土壌水分量の変動がモモ果肉障害果の発生に及ぼす影響
 ○手塚誉裕¹・萩原栄揮¹・富田晃¹・加藤治¹・三宅正則¹・古屋栄¹・山下(土橋)路子²
 (山梨県果樹試験場,²岐阜農務事務所)
- P046 モモの果肉障害の特徴と”水浸状果肉褐変症”の発生に及ぼす環状剥皮処理の影響
 ○久保田尚浩・金谷善泰・福田文夫・平野健(岡山大院自然科学研究科)
- P047 モモ ‘清水白桃’ における生理的落果と種子の発育およびジベレリン含量との関係
 ○福田文夫¹・米田愛理²・木村優子²・平野健¹・森永邦久¹・久保田尚浩¹ (岡山大院自然科学研究科,²岡山大農学部)
- P048 スモモ ‘サマービュート’ の収穫適期の把握と専用カラーチャートの開発
 ○富田晃¹・萩原栄揮¹・鈴木文晃²・串田賢一² (山梨果樹試,²山梨工技セ)
- P049 ニホンスモモ ‘貴陽’ 果実への液体接着剤塗布処理がネット発生および品質に及ぼす影響
 ○鈴木謙作¹・福島鮎美¹・伊藤俊輔¹・山本哲也²・國武久登²・八幡昌紀¹・成瀬博規¹・増田幸直¹・向井啓雄¹・原田久¹・高木敏彦^{1*} (静岡大農学部,²宮崎大農学部,*退職)
- P050 低温およびその後の加温処理がウメ花芽の発達に及ぼす影響
 ○田中勇介・山根久代・田尾龍太郎(京大院農学研究科)
- P051 花芽分化期および開花期の温度が甘果オウトウのクラス D MADS-box 遺伝子の発現に及ぼす影響
 ○辻田孝志・王新衛*・片岡郁雄・別府賢治(香川大農学部,*南京農業大園芸学部)
- P052 サンカオウトウとチュウゴクオウトウの種間雑種選抜系統の特性
 片岡郁雄・○松本曜・金倉克啓・別府賢治(香川大農学部)
- P053 ベビーパーシモン生産に向けたカキ ‘突核無’ 果実の mRNA-seq 解析
 ○羽生剛¹・河合崇²・山根久代²・田尾龍太郎² (愛媛大農学部,²京大院農学研究科)
- P054 低樹高棚栽培におけるジョイントの有無及び冬季せん定の違いがカキ ‘太秋’ の樹体生育に及ぼす影響
 ○朝隈英昭・千々和浩幸・石坂晃(福岡農総試)
- P055 カキの簡易な樹形改造法の開発(第1報) 樹形改造モデル樹の改造過程および改造前の樹勢が改造後の新梢生育に及ぼす影響
 ○堀田宗幹¹・熊本昌平¹・和中学¹・安井洋子²・前阪和夫³ (和歌山果樹試かき・もも研,²和歌山農試,³和歌山農大)
- P056 わい性台木 MKR1 がカキ ‘平核無’ の花原基形成に及ぼす影響
 ○石村修司・日高拓未・平野江美子・本勝千歳・鉄村琢哉(宮崎大農学部)
- P057 カキ ‘前川次郎’ における採取後の温度条件変化に対する果皮着色反応評価
 伊藤寿・○三井友宏(三重農研)
- P058 ベビーパーシモン生産に向けたカキ ‘突核無’ のポット栽培における一斉収穫時の果実品質
 ○新川猛・鈴木哲也(岐阜農技セ)
- P059 ベビーパーシモン生産に向けたカキ ‘突核無’ の露地栽培における結実安定と果実品質
 ○堀川拓未¹・本永尚彦^{2*} (新潟農総研佐渡農技セ,²新潟農総研園研セ,*新潟農総研)
- P060 ベビーパーシモン生産に向けたカキ ‘突核無’ の高接ぎによる早期収量確保(第1報) 接ぎ穂の性質
 本永尚彦^{1*}・○榎田暢美¹ (新潟農総研園研セ,*新潟農総研)
- P061 マタビ属4種の耐湿性比較
 ○山田寿¹・岡山聡子¹・片岡郁雄²・矢野隆³ (愛媛大農学部,²香川大農学部,³愛媛果樹研セ)
- P062 ニホングリ ‘ぼろたん’ における土壌条件の違いが耐凍性に及ぼす影響
 ○阪本大輔・井上博道・草場新之助(農研機構果樹研)
- P063 クリの凍害と園地土壌の理化学的特性との関係
 ○井上博道¹・草場新之助¹・阪本大輔¹・水田泰徳²・神尾真司³
 (農研機構果樹研,²兵庫農技総セ,³岐阜中山間農研中津川)
- P064 園地の気象条件がクリの耐凍性に及ぼす影響
 ○水田泰徳¹・外川哲男^{1*}・猪口覚²・玉木衣央³ (兵庫農総セ,²丹波農改,³阪神農改,*龍野農改)
- P065 変位センサによる樹体の凍結・融解の動態測定
 ○朝倉利員・児下佳子・阪本大輔・杉浦俊彦(農研機構果樹研)

- P066 主枝高がイチジクの凍害発生と貯蔵養分に及ぼす影響
○真野隆司¹・伊東明子²・磯部武志³・三輪由佳³・細見彰洋³・水田泰徳¹・森口卓哉² (¹兵庫農技総セ,²農研機構果樹研,³大阪環境農水総研)
- P067 コンポスト施用土壌におけるイチジク株枯病抑制要因の究明
○三輪由佳・磯部武志・細見彰洋 (大阪環境農水研)
- P068 食味性に優れたアントシアニン高含有ブルーベリー品種の探索
○大館綾乃¹・星野裕昭¹・車敬愛²・荻原勲^{1,2}・濱館直史³・隅倉有貴³
(¹東京農工大院農学府,²東京農工大農学部,³(株) えがお)
- P069 Fruit Quality, Anthocyanin, Total Phenolic Contents, and Antioxidant Activity of 51 Blueberry Cultivars Grown in Suwon, Korea
○Park Kyo-Sun¹・Kim Su Jin¹・Nam Jong Chul¹・Noh Jung Ho¹・Jung Sung Min¹・Hur Youn Young¹・Kim Jin Gook^{2,3}
(¹Fruit Research Division, National Institute of Horticultural & Herbal Science, Rural Development Administration, Korea,
²Department of Horticulture, College of Agriculture & Life Sciences, Gyeongsang National University, Korea, ³Institute of
Agricultural & Life Sciences, Gyeongsang National University, Korea)
- P070 Comparison of fruit characteristics and antioxidant activity of 20 blueberry cultivars grown in Suwon and Namhae, Korea
○Kim Jin Gook^{1,2}・Kim Su Jin³・Park Kyo-Sun³・Nam Jong Chul³・Noh Jung Ho³・Jung Sung Min³・Hur Youn Young³
(¹Department of Horticulture, College of Agriculture & Life Sciences, Gyeongsang National University, Korea, ²Institute of
Agricultural & Life Sciences, Gyeongsang National University, Korea, ³Fruit Research Division, National Institute of Horticultural &
Herbal Science, Rural Development Administration, Korea)
- P071 ハイブッシュブルーベリー ‘ブルークロップ’ と我が国自生スノキ属野生種ナツハゼとの節間雑種の作出
○執行みさと¹・安原(福永)千恵¹・内山輝亮¹・小島祥子²・國武久登²・小松春喜¹ (¹東海大農学部,²宮崎大農学部)
- P072 ブルーベリー果実連続生産法の開発 (1) 1年生枝の花芽誘導条件および果実品質
○真弓優理香¹・車敬愛²・堀内尚美²・村松幸成¹・渡邊美帆²・荻原勲^{1,2} (¹東京農工大院農学府,²東京農工大農学部)
- P073 我が国においてツツジ科果樹に内生する菌根菌相の解明 (第2報) ブルーベリーの樹齢と hair root の菌根化率の関係
○小川明日香¹・長谷川莉代¹・馬場隆士¹・広瀬大²・佐々木信光¹・乃万了¹・伴琢也¹ (¹東京農工大,²日本大薬学部)
- P074 ブルーベリー葉におけるプロアントシアニジンおよびアントシアニン含量の季節変動とその関連遺伝子の発現
○大山明子・布施拓市・國武久登 (宮崎大農学部)
- P075 塩ストレスによるパッションフルーツ果実のプロリン集積と P5CS 活性および遺伝子発現との関係
久保達也・上田純市*・○遠藤公志郎・富永茂人・山本雅史・中田亜希**
(鹿児島大農学部,* (株)太陽漬物,** 岩崎産業 (株))
- P076 パパイアの薬培養由来植物体における形態変異
○玉城盛俊¹・渡口誠士^{2*}・浦崎直也¹・嬉野健次²・本村恵二²・安谷屋信一²
(¹沖縄農研セ,²琉球大農学部,* 八重山農林高校)

野 菜

- P077 トマトブッシュ系固定系統と単為結果性固定系統の交雑後代における短節間性および単為結果性の遺伝
○田中哲司^{1,2}・井上栄一³・大藪哲也¹ (¹愛知農総試,²東京農工大院連合農学研究科,³茨城大農学部)
- P078 ナス属野生種 *Solanum virginianum* の細胞質をもつナスの機能的雄性不稔系統における花粉の崩壊
○ハスヌンナハル M.・カーン M. M. R.・一色司郎 (佐賀大農学部)
- P079 ナスの3種類の細胞質雄性不稔性の稔性回復遺伝子の稔性回復能力について
○カーン M. M. R.・ハスヌンナハル M.・一色司郎 (佐賀大農学部)
- P080 トマトの長期多段採り栽培における品種特性
○玉越賢太郎¹・位田晴久² (¹(株)大島造船所,²宮崎大農学部)
- P081 トマト果実の発育における V-PPase の役割
○金山喜則¹・Mohammed, S. A.¹・西尾聡悟¹・白武勝裕²・池田裕樹¹・金浜耕基¹
(¹東北大院農学研究科,²名古屋大院生命農学研究科)
- P082 *Solanum pennellii* の第8染色体における有用形質に関する研究
○池田裕樹・平賀正浩・中田善大・西山学・金濱耕基・金山喜則 (東北大院農学研究科)
- P083 早期退緑を示す Micro-Tom 突然変異体の果実着色異常がもたらす影響について
○近藤敬典¹・切岩祥和¹・神谷志織¹・林万里奈²・加藤雅也¹・江面浩³・浅水恵理香³・岡部佳弘³・本橋令子¹
(¹静岡大院農学研究科,²静岡大農学部,³筑波大院生命環境科学研究科)
- P084 トマト単為結果性に及ぼす転写制御因子の影響
○寺岡大智¹・山岡達也²・中野龍平²・久保康隆²・牛島幸一郎²
(¹岡山大院自然科学研究科,²岡山大院環境生命科学研究科)

- P085 カリウムの高濃度施与によるトマト果実のリコペン含量向上
 ○名田和義¹・吉田衣里¹・永田雅靖²・磯崎真英³・増田実³・平塚伸¹
 (¹ 三重大院生物資源学研究所, ² 農研機構野菜茶研, ³ 三重農研)
- P086 豚ふん堆肥炭化物に含まれるリン酸を利用したトマト栽培
 ○鈴木敏征¹・佐野修司¹・上田浩三²・阪本亮一²・山本常平²・土手裕³・関戸知雄³
 (¹ 大阪環農水研, ² 日立造船, ³ 宮崎大工学部)
- P087 一段密植栽培トマトはどの程度の低リン酸環境に耐え得るか
 ○松澤佑馬¹・浄閑正史²・丸尾達²・北条雅章³・塚越覚³・篠原温²
 (¹ 千葉大園芸学部, ² 千葉大院園芸学研究所, ³ 千葉大環境健康フィールド科セ)
- P088 促成栽培における日中の加温がトマトの収量に及ぼす影響
 ○龍勝利・井手治・古賀武・中園堯士・石松敬章 (福岡農総試)
- P089 気化熱によるベンチ冷却が低段密植で栽培した夏秋トマトの生育および収量に及ぼす影響
 ○岡田牧恵 (広島総研農技セ)
- P090 トマトの NFT 栽培における定植時期の違いが定植後の生育へ及ぼす影響
 ○金子壮¹・島中誠²・木村哲²・田村奨悟²・東出忠桐¹・安場健一郎¹・大森弘美¹・中野明正¹
 (¹ 農研機構野菜茶研, ² タキイ種苗 (株))
- P091 トマトの NFT 低段栽培における冬季の培養液加温が生育および根域の活性に与える影響
 ○河崎靖・安東赫・岩崎泰永 (農研機構野菜茶研)
- P092 接ぎ木がもたらす日本及びオランダ品種トマト苗の根の液肥透過性への影響
 ○柿田友美・中村美緒・池田敬 (明治大農学部)
- P093 摘心、オーキシンおよびサイトカイニン塗布処理によるトマトの側枝伸長
 ○太田勝巳 (島根大生物資源科学部)
- P094 トマト小葉基部の葉柄組織から発生する不定芽はダイレクトシュートである
 ○伊達修一・米田彩乃・寺林敏 (京都府大院生命環境科学研究科)
- P095 簡易水耕システムにおけるトマトの低段密植栽培に関する研究
 ○牛嶋孝¹・河相玲奈¹・江口琴弥¹・高林太一¹・木村真大¹・込口柁之¹・川島一哉²・窪山孝治²
 (¹ 福岡農専, ² 全農ふくれん)
- P096 トマトの極少量培地耕における施用培養液組成と養分吸収特性の関係
 ○Zhang Yiting¹・中村大介²・切岩祥和²・糠谷明² (¹ 岐阜大院連合農学研究科, ² 静岡大農学部)
- P097 愛媛県中山間地域における夏季のトマトポット育苗において渓流水を活用した根域冷却技術の開発
 ○木下貴文¹・安西昭裕²・河内博文²・長崎裕司¹ (¹ 農研機構近中四農研, ² 愛媛農水研)
- P098 デシカント空調機を用いたトマト苗生産システムの開発に関する基礎的研究
 ○塚越覚¹・松本二郎²・永塚孝幸²・井藤俊行³
 (¹ 千葉大環境健康フィールド科セ, ² 京葉瓦斯 (株) 技研セ, ³ 京葉プラントエンジニアリング (株) 環境部)
- P099 閉鎖型苗生産システムにおける環境条件が一段密植栽培トマトの生育および収穫期の揃いに及ぼす影響
 ○大谷智之¹・北条雅章²・丸尾達¹・浄閑正史¹・塚越覚²・篠原温¹
 (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 千葉大環境健康フィールド科セ)
- P100 非病原性 *Ralstonia solanacearum* を用いたトマト青枯病の生物的防除の検討
 ○貞苅尚登¹・森太郎¹・小川晃一郎¹・松崎弘美²・松添直隆²
 (¹ 熊本県立大院環境共生学研究所, ² 熊本県立大環境共生学部)
- P101 ナス果実の抗酸化特性の変動要因に関する研究
 ○上村拓也¹・本田智己¹・森山美花²・松添直隆² (¹ 熊本県立大院環境共生学研究所, ² 熊本県立大環境共生学部)
- P102 棟方向傾斜ハウスにおける細霧冷房が施設内の気温に及ぼす影響
 ○長菅香織^{*}・由比進・矢野孝喜・稲本勝彦・山崎博子 (農研機構東北農研, ^{*} 農研機構野菜茶研)
- P103 パプリカの長期ロックウール栽培における品種、LAI、光合成速度の関係
 ○安場健一郎¹・東出忠桐¹・後藤一郎²・飯村裕史³・金子壮¹・大森弘美¹・鈴木克己¹・中野明正¹
 (¹ 農研機構野菜茶研, ² カネコ種苗, ³ 日本デルモンテ)
- P104 パプリカ光照射追熟に対する果実熟度、処理時期および品種の影響
 ○高橋拓也 (岩手農研セ)
- P105 紫パプリカ果実成熟過程における色素変化
 ○池田敬¹・赤井真奈美¹・中山真義²・山中久美¹・坂寄卓海¹ (¹ 明治大農学部, ² 農研機構花き研)
- P106 *Fragaria nilgerrensis* を種子親に用いた種間雑種の作出
 ○山田朋宏・野口裕司・片岡園 (農研機構野菜茶研)

- P107 交配親に用いたイチゴ一季成り性品種の早晚が、後代の四季成り性個体の早晚に及ぼす影響
○本城正憲¹・片岡園^{1*}・矢野孝喜¹・濱野恵¹・山崎浩道¹・由比進¹・森下昌三^{1**}
(¹農研機構東北農研,^{*}農研機構野菜茶研,^{**}農研機構九州農研)
- P108 極晩生の一季成り性イチゴ新品種‘イチゴ盛岡35号’
○片岡園^{1*}・本城正憲¹・矢野孝喜¹・濱野恵¹・岡本潔^{1***}・森下昌三^{1**}・由比進¹
(¹農研機構東北農研,^{*}農研機構野菜茶研,^{**}農研機構九州農研,^{***}長野野菜花き試)
- P109 イチゴにおける味覚センサーを用いた味覚関連形質に基づく分類化(第2報)味覚センサーを用いた味覚関連形質に基づく分類化における年次間の安定性
○曽根一純¹・沖村誠¹・木村貴志¹・北谷恵美¹・飛川みのり¹・石川正美²・森利樹³・井口工⁴
(¹農研機構九州農研セ,²千葉県農総研セ,³三重県農研,⁴香川農試)
- P110 イチゴ品種における果実成熟日数ならびに糖度・酸度の季節変化
○小堀純奈・森利樹(三重農研)
- P111 栽培イチゴにおける *FaFTL1*, *2*, *3*, *FaTFL1*, *FaAPI* 遺伝子発現解析と花芽分化
○中嶋竜一¹・福田至朗²・齊藤弥生子²・丹羽昌二²・山田邦夫³・太田垣駿吾¹・白武勝裕¹・松本省吾¹
(¹名古屋大院生命農学研究科,²愛知農総試,³中部大応用生物学部)
- P112 エゾヘビイチゴ (*Fragaria vesca* L.) における DNA マーカーを用いた解読ゲノム配列の FISH 法による精度解析
○新居秀将¹・柳智博¹・奥田延幸¹・平川英樹²・磯部祥子²(¹香川大農学部,²かずさ DNA 研)
- P113 イチゴアレルゲンをコードする *Fra-a1* 遺伝子の単離と発現解析
○夫津木大輔¹・奈邊健²・新田陽子³・鶴田宏樹⁴・巖原美穂⁵・宇野雄一¹
(¹神戸大院農学研究科,²京都薬大,³兵庫県立大環境人間学部,⁴神戸大連携創造本部,⁵(株)ピオスタ)
- P114 イチゴの萎黄病抵抗性 DNA マーカーの連鎖分析
○橋本和紀¹・浜中悠¹・辻朋子²・橋爪不二夫²・小堀純奈²・森利樹²・掛田克行¹
(¹三重大院生物資源学研究科,²三重農研)
- P115 塩分濃度の異なる土壌がイチゴの生育に及ぼす影響
○上山啓一・小島由美子・玉手英行・高野岩雄(宮城農園総研)
- P116 クラウン温度制御処理した四季成り性イチゴの生育および収量に及ぼす液肥濃度の影響
○壇和弘・日高功太・今村仁・沖村誠(農研機構九州農研)
- P117 入れ替え時刻と遮光がイチゴに対する間欠冷蔵処理の効果発現に及ぼす影響
稲角大地・○吉田裕一(岡山大院自然科学研究科)
- P118 イチゴの兵庫方式高設栽培における培地気化冷却効果の品種間差異
○山本晃一・小河毅(兵庫農総セ農技)
- P119 促成イチゴ‘さがほのか’における局所温度制御循環用チューブの違いが生育に及ぼす影響
○石橋哲也¹・藤伸一²・久富倫子²・大坪竜太¹・榑崎耕輔¹・富永慧^{1*}・浦田貴子¹
(¹佐賀上場営セ,²松普及セ,^{*}佐賀農セ)
- P120 高設イチゴの促成栽培における一次腋花房の出蕾の年次変動と培地冷却による促進効果
○山崎敬亮・熊倉裕史^{*}・浜本浩^{*}(農研機構近畿中国四国農研,^{*}農研機構野菜茶研)
- P121 局所温度制御栽培における促成イチゴ‘さがほのか’の定植時期の違いが収量・品質に及ぼす影響
○大坪竜太¹・富永慧^{1*}・石橋哲也¹・榑崎耕輔¹・浦田貴子¹(¹佐賀上場営セ,^{*}佐賀農セ)
- P122 イチゴ促成栽培における補光処理が生育および収量におよぼす影響-1.光源の検討-
○日高功太¹・壇和弘¹・鮫島國親¹・三好悠太²・今村仁¹・高山智光¹・北野雅治²・沖村誠¹
(¹農研機構九州研,²九州大農学部)
- P123 低カリウムイチゴ生産における品種間差異
○小林裕太郎・立花和幸・MD. Asaduzzaman・MD. Fuad Mondal・磯上憲一・土倉まゆみ・浅尾俊樹
(島根大生物資源科学部)
- P124 セイヨウミツバチの訪花がイチゴ‘アスカルビー’と‘古都華’の果実の形状に及ぼす影響
○西本登志¹・堀川大輔^{1*}・安川央央¹・吉田裕一²(¹奈良農総セ,²岡山大農学部,^{*}奈良南部農林振事務所)
- P125 ワグネルポットシステムにおける数種アミノ酸によるイチゴの生育および収量の回復
○MD. Fuad Mondal・MD. Asaduzzaman・小林裕太郎・浅尾俊樹(島根大生物資源科学)
- P126 花房間葉数を指標とした花房摘除処理が四季成り性イチゴの開花および収穫パターンに及ぼす影響
○矢野孝喜・長菅香織^{*}・山崎博子・稲本勝彦・山崎浩道・濱野恵・本城正憲・森下昌三^{**}
(農研機構東北農研,^{*}農研機構野菜茶研,^{**}農研機構九州沖繩農研)
- P127 レーザセンサによるイチゴの生体情報計測と育苗時の灌水開始点の決定
○川口岳芳・越智資泰・古田貴音・原田秀人・福島啓吾(広島総研農技セ)

- P128 中空構造栽培槽の移動性を利用したイチゴの多段直接採苗法
 ○内山知二¹・西本登志²・安川人央²・長崎祐司³・山崎敬亮³・佐野修司¹・遠藤常嘉⁴・工藤渚⁴・中村麻里子⁴・松山眞三⁵・隅谷智宏⁶
 (¹大阪環農水研, ²奈良農総セ, ³農研機構近中四農研, ⁴鳥取大農, ⁵大日本プラスチック (株), ⁶(株) ヴェイル)
- P129 ポットレス培地を利用したイチゴ育苗時の灌水回数 (ポットレス培地のイチゴ育苗への利用について - 第2報 -)
 ○越智資泰・川口岳芳・古田貴音・原田秀人・福島啓吾 (広島総研農技セ)
- P130 水平移動機構を利用した中空構造栽培槽によるイチゴの段差付き直接採苗法
 ○佐野修司¹・内山知二¹・長崎祐司²・山崎敬亮²・西本登志³・安川人央³・遠藤常嘉⁴・工藤渚⁴・松山眞三⁵・隅谷智宏⁶
 (¹大阪環農水研, ²農研機構近中四農研, ³奈良農総セ, ⁴鳥取大農, ⁵大日本プラスチック (株), ⁶(株) ヴェイル)
- P131 酸素透過率の異なるポリプロピレンフィルムで貯蔵中のイチゴの果実特性
 ○張虹¹・近藤将来²・児島清秀¹ (¹新潟大院自然科学研究科, ²新潟大農学部)
- P132 エダマメ ‘新潟茶豆’ の莢厚増加速度と子実糖含量の関係
 ○細野達夫¹・片山勝之² (¹農研機構中央農総研, ²農研機構東北農研)
- P133 収穫時の気象条件によるエダマメ代謝産物の変動
 ○富田淳美¹・江頭宏昌²・曾我朋義¹・及川彰^{1,2} (¹慶應大 IAB, ²山形大農学部)
- P134 連続光下のエダマメ苗の生育に及ぼす変温処理の影響
 ○畑直樹^{1,2}・村中俊哉²・岡澤敦司^{1,2} (¹大阪府大院生命環境科学研究科, ²大阪大院工学研究科)
- P135 キュウリの高マグネシウム (Mg) 条件下における葉面クロロシスの軽減試験とクロロシス部位の鐘乳体の変化に関する研究
 ○江口琴弥¹・牛嶋孝¹・河相玲奈¹・平田信宝¹・兼子明² (¹福岡農専, ²福岡農総試)
- P136 光強度がキュウリ苗のCO₂吸収および生育に及ぼす影響
 ○安東赫・東出忠桐・河崎靖・岩崎泰永・中野明正 (農研機構野菜茶研)
- P137 培養液中硝酸カリウム欠如がメロンの生育および品質に及ぼす影響
 ○MD. Asaduzzaman・MD. Fuad Mondal・小林裕太郎・磯上憲一・土倉まゆみ・浅尾俊樹 (鳥根大生物資源科学部)
- P138 加工品保存時に黄変しないダイコン新品種 ‘だいこん中間母本農5号’
 ○石田正彦¹・小原隆由¹・柿崎智博¹・畠山勝徳¹・吉秋斎^{1*}・小堀純奈^{1**}・松元哲¹・野口裕司¹・坂田好輝^{1***}・小島昭夫¹・森光康次郎²
 (¹農研機構野菜茶研, ²お茶の水女子大, * 石川奥能登農林事務所, ** 三重農研, *** 農研機構九州沖縄農研)
- P139 ニンジン固定種の維持に有効な採種技術の探索
 ○成富正好志・駒井史訓 (佐賀大院農学研究科)
- P140 ダイコンの春化に関わる遺伝子の単離とマッピング
 ○松井仁美・橋田友子・武田征士・平井正志・久保中央 (京都府立大院生命環境科学研究科)
- P141 レタスのCAX相同性遺伝子の同定と発現解析
 ○難波亨輔・山口裕貴・金地通生・宇野雄一 (神戸大院農学研究科)
- P142 ハウス栽培での結球レタスの生育特性
 ○大和陽一・前田昭一・上田重文・渡辺慎一・古谷茂貴・岡本章秀 (農研機構九州沖縄農研)
- P143 チシャトウ (ステムレタス) 春作における播種・定植時期が生育・収量や品質・内部成分に及ぼす影響
 ○甲村浩之・小川裕貴・王丹・大地有城 (県広島大生命)
- P144 レタス水耕栽培における有機質肥料のチシャ根腐病抑制効果
 ○チンタ ユフィタ ドゥイ¹・加納一樹¹・深堀優¹・川崎静香¹・三須英幸¹・江口ゆみ¹・アニ ウィディアストゥティ²・篠原信³・佐藤達雄¹ (¹茨城大農学部, ²ガジャ・マダ大農学部, ³農研機構野菜茶研)
- P145 カラシナ鋤き込み・被覆処理における処理方法および処理時期の違いが夏作ホウレンソウの土壌病害軽減効果に及ぼす影響
 ○吉田祐子・竹原利明・須賀有子・伊藤陽子・山崎敬亮・村上健二・生駒泰基 (農研機構近中四農研)
- P146 耕うん法および緑肥の有無がキャベツ根こぶ病発生におよぼす影響
 ○岡部繭子・畠中洸・春日重光 (信州大農学部)
- P147 積雪寒冷地におけるネギの無加温チェーンポット育苗による早期収穫と長期出荷
 ○本庄求・武田悟 (秋田農試)
- P148 アミノ酸発酵副生液の苗への処理がタマネギ生産に及ぼす影響
 ○森太郎¹・成富正好志¹・山田大地¹・室崇人²・駒井史訓¹ (¹佐賀大農フィールドセンター, ²農研機構北農研)
- P149 ヤグラネギの花序における珠芽の形成
 ○金澤俊成¹・小田多賀子²・齋藤友洋²・加藤一幾²・立澤文見²・壽松木章² (¹岩手大教育学部, ²岩手大農学部)
- P150 ニラのクロロフィル, カロテノイド色素生成に及ぼすLED,UVの影響
 ○渡辺慶一¹・土屋正邦²・立石亮²・井上弘明² (¹日本大短期大学部, ²日本大生物資源科学部)

- P151 アスパラガス (*Asparagus officinalis*) ×ハマタマボウキ (*A. kiusianus*) 種間雑種の茎枯病抵抗性
○岩戸美由紀¹・松元賢²・小佐々雅子¹・竹内陽子¹・稲田稔³・尾崎行生⁴・大久保敬⁴
(¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大熱研セ,³佐賀農試研セ,⁴九州大院農学研究院)
- P152 グリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培におけるおが屑培地の有効性
地子立¹・午来博²・門傳千香子^{3*}・園田高広⁴・○荒木肇⁵
(¹北海道大院環境科学院,²美幌みらい農セ,³網走農改セ美幌支所,⁴酪農学園大,⁵北海道大北方生物圏セ)
- P153 ポット養成したアスパラガス2年生株の秋冬期の貯蔵根糖度および収量に及ぼす乾燥・低温処理の影響
○渡辺慎一・古谷茂貴・大和陽一 (農研機構九州沖縄農研)
- P154 竹炭を利用したアスパラガスによる生育阻害の軽減
奥田延幸・空真理子・○大黒香奈美・通山香菜・加藤尚 (香川大農学部)
- P155 アスパラガス葉状茎の表面積推定法
○岡本章秀・渡辺慎一・山下正隆 (農研機構九州沖縄農研)
- P156 ジベレリンの散布部位がむかごの発育に及ぼす影響
○吉田康徳¹・細越香織¹・高橋春實¹・神田啓臣¹・加賀谷涼平¹・西山学²・金浜耕基²
(¹秋田県大生物資源科学部,²東北大院農学研究科)
- P157 「早生もって」における花器の形質および抗酸化活性の系統間差
○小笠原宣好¹・高品善²・遠藤幸子³・齋藤裕太郎³・江頭宏昌¹ (¹山形大農学部,²山形県庁,³山形農総研セ園試)
- P158 LED単色光下におけるブラックミントの生育
○佐藤友紀子¹・助清泰教²・工藤慶子²・雨木若慶³・渡邊博之¹ (¹玉川大農学部,²三菱化学(株),³東京農業大農学部)
- P159 水耕ハーブの根から分泌された精油成分の定量と精油成分が青枯病菌に及ぼす影響
○竹井かおり・市村匡史 (東農大農学部)
- P160 トウキ (*Angelica acutiloba* Kitagawa) の生育および収量に及ぼす苗立数と刈り取り頻度の影響
○新藤聡・松原紀嘉・渡辺均 (千葉大環境健康フィールド科セ)
- P161 養液栽培で育てられたハツカダイコンの成長と養分吸収に及ぼす窒素の定量施用の影響
○鈴木茂敏・田村真梨子・濱田幸 (名城大農学部)
- P162 培養液の濃度管理法によって養液栽培で育てられたハツカダイコンの成長と養分吸収に及ぼす培養液濃度の影響
○李慧霞¹・鈴木茂敏² (¹名城大院農学研究科,²名城大農学部)
- P163 少量培地耕における土壌水分センサの特性
○安田雅晴・宮田洋輔 (岐阜農技セ)
- P164 親水性樹脂を用いた養液栽培用培地の開発 - 果菜類の初期生育について -
○西村安代・藤田祐子・山崎裕子・高畑沙織 (高知大農学部)
- P165 低濃度オゾン水によるコマツナおよびトマトの生育促進効果
尾上美咲¹・立澤文見¹・金澤俊成²・阿部潤³・澤田公司⁴・○加藤一幾¹
(¹岩手大農学部,²岩手大教育学部,³岩手生工研,⁴(株)オーエンス・ジェー・ピー)
- P166 ズッキーニによる土壌残留ディルドリンのファイトレメディエーション
○齋藤隆¹・大谷卓²・清家伸康²・岡崎正規³ (¹福島県農総セ,²農環研,³石川県立大)
- P167 活性炭を利用したキュウリのPOPs吸収抑制技術に関する研究(第2報)抑制効果の持続性
○遠藤昌伸¹・松澤清二郎¹・清家伸康²・大谷卓² (¹新潟農総研園研セ,²農環研)
- P168 土壌中放射性セシウムの野菜への移行に及ぼす環境保全型栽培の影響
○村山徹 (農研機構東北農研)

花 き

- P169 常緑性ツツジと落葉性キレンゲツツジとの亜属間交配で得られた実生の黄色花卉退色化要因の解明(第1報)花卉生育に伴うカロテノイド含量の変化
○嬉野健次¹・田代亜紀羅¹・宮島郁夫² (¹琉球大農学部,²九州大熱研セ)
- P170 ムラサキナズナ (*Aubrieta xcultrum* Bergmans) のフラボノイド
○立澤文見¹・相場優志¹・加藤一幾¹・森野端之²・土岐健次郎²・篠田浩一³
(¹岩手大農学部,²南九州大園芸学部,³農研機構北海道農研)
- P171 アリウムの青色花品種‘ブルーパフェーム’のフラボノイド
○篠田浩一¹・仲村麻衣子²・村田奈芳¹・金澤俊成³・加藤一幾²・立澤文見²
(¹農研機構北海道農研,²岩手大農学部,³岩手大教育学部)

- P172 ジャカラランダ (*Jacaranda mimosifolia*) の花弁内主要アントシアニンの同定
 ○宮島郁夫¹・桂奈央²・中山真義³・Soto Silvina⁴・小林伸雄⁵
 (¹九州大熱研セ,²九州大農学部,³農研機構花き研,⁴アルゼンチン農牧技術院花卉研,⁵島根大生物資源科学部)
- P173 クルクマ苞葉におけるアントシアニン
 ○梅垣奈央子¹・Witayaporn Pornchuti²・山口聰³・Kriangsuk Boontiank⁴・腰岡政二¹・窪田聡¹
 (¹日本大院生物資源科学研究科,²Mahidol Univ.,³玉川大農学部,⁴MahaSarakhm Univ.)
- P174 紅花ツバキのアントシアニンによる化学分類
 ○橋本文雄・李建賓*・清水圭一・坂田祐介 (鹿児島大院連合農学研究科,*雲南農業大)
- P175 ダリア花弁のアントシアニン合成に関与する転写因子 *Dv11S* のプロモーターの遺伝子型と花色の濃淡との関係
 大野翔¹・○出口亜由美¹・細川宗孝¹・立澤文見²・土井元章¹ (¹京都大院農学研究科,²岩手大農学部)
- P176 組織培養苗を用いた赤白複色花ダリア '結納' における花色不安定性の緩和
 ○大野翔・細川宗孝・土井元章 (京都大院農学研究科)
- P177 発表取消し
- P178 植物を利用した環境汚染物質ホルムアルデヒドの除去に関する研究 (第20報) . 野生種のセンテッド・ゼラニウムの莖葉におけるホルムアルデヒド代謝関連物質・酵素活性の比較
 ○藤井達矢¹・田淵俊人¹・佐藤和規² (¹玉川大農学部,²第一園芸 (株))
- P179 イオン液体を活用したユリ花粉の発芽孔の元素分析
 ○岡田佳奈子¹・井上侑子²・矢田光徳²・田中取³・桑畑進⁴・駒井史訓¹
 (¹佐賀大院農学研究科,²佐賀大院工学系研究科,³桜木理化学機械 (株),⁴大阪大院工学研究科)
- P180 ノハナショウブの変異性に関する研究 (第33報) NaCl 処理がノハナショウブにおける根や葉の ATPase 活性に及ぼす影響
 ○定延葉子¹・松本和浩²・田淵俊人² (¹玉川大農学部,²弘前大農学生命科学部)
- P181 西九州に自生するダンギクの地理的変異
 ○安藤匡哉¹・谷口彰登²・桑原和章²・神近英一²・松原紀嘉³・渡辺均³
 (¹千葉大院園芸学研究科,²千葉大園芸学部,³千葉大環境健康フィールド科セ)
- P182 自生地におけるニホンズイセンの DNA 解析による系統樹の作成と開花特性の差異
 ○林恵美子¹・大城閑²・小室律²・坂本浩¹・河原一浩¹ (¹福井園芸,²福井県立大生物資源)
- P183 北陸地方に分布するヤマアジサイの系統解析
 上町達也・○千頭航・林佑里子 (滋賀県大環境科学部)
- P184 富山県高岡市二上山で見出された菊咲き性のサクラの一新品種
 ○大原隆明¹・泉治夫² (¹富山県中央植物園,²高岡生物研究会)
- P185 カーネーションの花持ち性の育種に関する研究 (第15報) 第7, 第8世代の育成および各世代における花色頻度の推移
 ○小野崎隆・八木雅史・棚瀬幸司*・柴田道夫** (農研機構花き研,*農研機構本部,**東京大院農学生命科学研究科)
- P186 笑気ガス処理により作出された4倍体シンテッポウユリの栽培特性
 ○佐藤孝夫¹・山形敦子¹・間藤正美¹・三吉一光^{2*} (¹秋田農試,²秋田県大生物資源科学部,*千葉大院園芸学研究科)
- P187 笑気ガス処理によるユリ雌性配偶子の染色体倍加
 ○温井祥太郎・日置智代・北村里美・長谷川悠子・子田明日美・岡崎桂一 (新潟大院自然科学研究科)
- P188 イオンビーム照射したキクとシンビジウムでのゲノム DNA 変異検出
 ○松山知樹¹・白尾吏²・上野敬一郎³・古川浩二⁴・岩澤洋樹⁴・阿部知子⁵・田畑哲之⁶ (¹理研基幹研,²鹿児島県沖永良部事務所,³鹿児島農総セ熊毛,⁴向山蘭園,⁵理研仁科センター,⁶かずさ DNA 研)
- P189 カーネーション連鎖地図の詳細化と花持ち性の QTL 解析
 ○八木雅史¹・山本俊哉²・磯部祥子³・田畑哲之³・木村鉄也⁴・小野崎隆¹
 (¹農研機構花き研,²農研機構果樹研,³かずさ DNA 研,⁴種苗管理セ)
- P190 アサガオ花弁の新規 mRNA アセンブルによる次世代シーケンス解析用参照配列の構築
 ○小野華子・石井一夫・古崎利紀・福原敏行・船田良・山田哲也・金勝一樹 (東京農工大農学府)
- P191 観賞用トマト 'マイクロトム' (*Solanum lycopersicum* cv. Micro-Tom) における activation tagging ベクターを使用した形質転換からの変異体の再生
 ○清水圭一・久保田翔平・橋本文雄 (鹿児島大農学部)
- P192 室内での培地滅菌と外植体置床において数種の薬剤の併用により微生物除染率と簡便性が向上する
 ○水田洋一・大久保智史・東出奈穂子・水谷裕一郎・矢澤進・土井元章 (京都大院農学研究科)
- P193 PSR 培地を用いたコショウランのクローン苗増殖法の開発
 ○榎真一・高原美規 (長岡技大工学生物)
- P194 *Haworthia* 属花茎培養における外植体および培地組成がシュート形成に及ぼす影響
 ○鈴木聡史・居城幸夫 (宇都宮大農学部附属農場)

- P195 菊咲き性サクラ品種の成長点培養における植物成長調節物質の影響
○神戸敏成¹・岡田雄治²・大原隆明¹ (¹富山県中央植物園,²富山県中央農業高校)
- P196 シュッコンスイートピー種子の発芽特性
○小池安比古・山崎敦彦 (東京農大農学部)
- P197 サクラ ‘ソメイヨシノ’ および ‘御衣黄’ における花器官の脱離に関する解剖学的・組織化学的研究
○山田幸輝¹・定延葉子¹・鳥居保那²・田淵俊人¹ (¹玉川大農学部,²神奈川県庁)
- P198 アジサイの八重化に伴う花器官の形態変化
上町達也・○外山周作・小森悠梨華 (滋賀県大環境科学部)
- P199 シクラメン八重咲き系統における花器形態変異
○水ノ江雄輝¹・月井美郷¹・鹿毛哲郎²・尾崎行生³・大久保敬³
(¹九州大院生物資源環境科学府,²鹿毛真耕園,³九州大院農学研究院)
- P200 八重咲きキイジョウウロウホトトギスにおける MADS-box 遺伝子群の発現解析
○菅野明¹・シャリフィアーマド¹・大泉加奈子¹・久保田渉誠¹・中野優² (¹東北大院生命科学研究所,²新潟大農学部)
- P201 ラベンダー (*Lavandula×intermedia*) の花芽分化に及ぼす低温、日長、GA 施用の影響
○安藤ひかる¹・家泉人大²・米沢苑子²・窪田聡^{1,2}・腰岡政二^{1,2}
(¹日本大院生物資源科学研究科,²日本大生物資源科学部)
- P202 ファレノプシスの主茎および花茎におけるジベレリン (GA) の局在性
○小幡彩夏¹・秋山直樹²・名和俊一郎²・窪田聡^{1,2}・腰岡政二^{1,2} (¹日大院生物資源科学研究科,²日大生物資源科学部)
- P203 花成誘導されたファレノプシスにおける LFY の発現部位
○後藤綾香・窪田聡・腰岡政二 (日本大院生物資源科学研究科)
- P204 球根休眠の程度が異なるタカサゴユリとテッポウユリの F1 雑種実生の生長様式
Mojtahedi N.¹・○比良松道一²・大久保敬² (¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院)
- P205 球茎の栽植密度、深度および球重がイキシアの開花と球形成に及ぼす影響
○乗越亮・新井安武・小池安比古・今西英雄 (東京農業大農学部)
- P206 ニホンズイセン球根の貯蔵温度が一作後の形状に及ぼす影響
○坂本浩・加茂良樹 (福井園試)
- P207 ラナンキュラスの球根における貯蔵糖の HPLC 分析
○村上恭子¹・竹内小百合¹・鳴海貴子²・深井誠一² (¹香川農試,²香川大農学部)
- P208 トルコギキョウおよびオリエンタル系ユリに対する冬季の二酸化炭素施用効果
○稲本勝彦¹・長菅香織²・矢野孝喜¹・山崎博子¹・西本登志³・仲照史³・廣岡健司³・佐野太郎³・吉川正晃⁴・岸本章⁴・喜多村克宏⁵・月村勝宏⁶・前田雅喜⁶・犬飼恵一⁶・鈴木正哉⁶
(¹農研機構東北農研,²農研機構野菜茶研,³奈良農総セ,⁴大阪ガス(株),⁵日本軽金属(株),⁶産総研)
- P209 間欠冷蔵処理が数種の花弁苗の生育および開花に及ぼす影響
○後藤丹十郎・喜多遙香・藤堂芹菜 (岡山大院環境生命科学研究所)
- P210 花芽発達期における EOD-Heating 処理の最低温度が輪ギクの開花と切り花品質に与える影響
○山形敦子・佐藤孝夫・間藤正美 (秋田農試)
- P211 赤色および青色発光ダイオード (LED) による部分補光がシクラメンの生育に及ぼす影響
○長嶋豊之¹・原百合香²・石井義久¹・新藤聡¹・松原紀嘉¹・渡辺均¹
(¹千葉大環境健康フィールド科セ,²千葉大園芸学部)
- P212 有機質肥料とアミノレブリン酸含有肥料の組み合わせがシクラメンの生育に及ぼす影響
○金谷健至¹・原百合香²・長嶋豊之¹・石井義久¹・新藤聡¹・松原紀嘉¹・渡辺均¹
(¹千葉大環境健康フィールド科セ,²千葉大園芸学部)
- P213 芝を植栽した屋上緑化の施肥管理法について
○黒沼尊紀¹・橋本早織²・石原竜彰³・吉岡孝治³・渡辺均⁴
(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大園芸学部,³共同カイトック(株),⁴千葉大環境健康フィールド科セ)
- P214 スプレーギク品種間におけるキク矮化ウイルスの感染性差異
○森本正幸¹・松下陽介² (¹ジャパンアグリバイオ(株),²農研機構花き研)
- P215 小ギクつぼみ期収穫切り花の開花処理における温度と UV が開花と切り花品質に及ぼす影響
仲照史¹・角川由加^{1*}・○虎太有里¹・山中正仁²・豊原憲子³・東明音⁴
(¹奈良農総セ,²兵庫農総セ,³大阪環農水総研,⁴クリザール・ジャパン(株),*奈良東部農林振興事務所)
- P216 バラ切り花の道管閉塞の起因位置と茎中から分離した細菌の同定
沼田慎一・○鈴木一典・高津康正 (茨城生工研)
- P217 バラ切り花の開花とアクアポリン
堀部貴紀¹・○岩田成生¹・白武勝裕²・山田邦夫¹ (¹中部大院応用生物,²名古屋大院生命農学)

P218 バラ花卉からのインペルターゼインヒビターのクローニング
堀部貴紀・山田邦夫（中部大院応用生物）

利 用

- P219 農業高等学校における園芸福祉活動の有効性に関する研究（第8報）園芸学を学んだ経験のない学生の園芸福祉活動への関心
○和田繁夫¹・田淵俊人²（¹北海道更別農業高等学校,²玉川大農学部）
- P220 浸透探傷検査法によるイチゴ果実表面に発生した損傷の定量的評価法の開発
○伊藤史朗¹・山本和博¹・清水篤¹・山本聡史²・林茂彦²（¹愛媛農水研,²生研センター）
- P221 数値流体力学による青果物包装容器内の空気の流れ解析
○北澤裕明¹・船木達也²・中尾光博³・大城靖彦⁴・蛭田政宏⁵・石川豊¹
（¹農研機構食総研,²産総研,³鹿児島大院理工学研究科,⁴茨城県庁,⁵茨城工技セ）
- P222 ラズベリー生鮮果実用パッケージ試作品を用いた実輸送における果実損傷率の評価
○今西弘幸・高橋紀子・宮入隆（秋田県立大生物資源科学部）
- P223 小型反射式光度計システムを用いたミズナのアスコルビン酸含量の簡易測定法の検討
○福永亜矢子¹・高澤弘明²・小山まなみ²（¹農研機構近中四農研,²成美大短大部）
- P224 分光測定からみた子葉の育成評価II
○小澤あつみ・渡邊絵梨・永田典子・今井元（日本女子大理学部）
- P225 トウキ及び近縁種を判別する RAPD マーカーの探索
○松原紀嘉・新藤聡・池上文雄・渡辺均（千葉大環境健康フィールド科セ）
- P226 ミシマサイコの養液栽培技術の確立に関する研究（第3報）培養液の濃度が生育、サイコサポニン含有量に及ぼす影響
○兼子まや¹・藤瀬茜¹・下村奈緒子²・塚越覚³・池上文雄³
（¹千葉大院園芸学研究科,²千葉大園芸学部,³千葉大環境健康フィールド科セ）
- P227 ミシマサイコの養液栽培技術の確立に関する研究（第4報）越年株の時期別養分吸収量と吸収濃度
○藤瀬茜¹・兼子まや¹・下村奈緒子²・塚越覚³・池上文雄³
（¹千葉大院園芸学研究科,²千葉大園芸学部,³千葉大環境健康フィールド科セ）
- P228 葉酸溶液の pH の違いが小麦スプラウトの葉酸含量に及ぼす影響
○瀧川重信・遠藤千絵・石黒浩二・鈴木達郎・野田高弘（農研機構北海道農研）
- P229 リンゴ新品種「もりのかがやき」果実の香り成分
○小菅正晴¹・澤野雅英¹・阿部和幸²（¹日本フレーバー工業（株）,²農研機構果樹研）
- P230 コリアンダー生育段階別葉部揮発性成分の炭素病菌に対する抗菌性評価
○池浦博美¹・北川将視¹・小林史幸²・早田保義¹（¹明治大農学部,²日獣医大応用生命科学部）
- P231 ハーブ生葉の香気がトマトハモグリバエの行動に及ぼす影響
○野口有里紗・鶴澤祐介・市村匡史（東京農大農学部）
- P232 香酸カンキツ「新姫」の油圧式搾汁機による果汁製造時の圧力の違いが果汁の機能性成分含量に及ぼす影響
○市ノ木山浩道¹・後藤正和²（¹三重農研紀南果樹,²三重大院生物資源研究科）
- P233 カワラヨモギ抽出物含有製剤処理と MA 包装の組合せによる「河内晩柑」の長期貯蔵
○井上久雄¹・大嶋悟士²・熱田博之²・越智洋之¹・三好孝典³・菊地毅洋¹・田中敦⁴・中尾悟⁴
（¹愛媛農研果樹研セみかん研,²阪本薬品工業（株）,³愛媛農研果樹研セ,⁴住友ベークライト（株））
- P234 カンキツ培養砂じょうにおけるカロテノイド集積に及ぼす青色 LED による光照射の影響
○菅陽香¹・馬剛¹・張嵐翠¹・加藤雅也¹・山脇和樹¹・切岩祥和¹・八幡昌紀¹・松本光²・生駒吉識²・根角博久³・吉岡照高²（¹静岡大農学部,²農研機構果樹研,³農研機構近中四農研）
- P235 カンキツ培養砂じょうにおけるフラボノイド集積に及ぼす光照射の影響
○神谷志織¹・木暮瑛¹・馬剛¹・張嵐翠¹・加藤雅也¹・山脇和樹¹・切岩祥和¹・八幡昌紀¹・松本光²・生駒吉識²・小川一紀²・根角博久³・吉岡照高²（¹静岡大農学部,²農研機構果樹研,³農研機構近中四農研）
- P236 脱渋処理の温度がカキ「太天」の渋味と酸味に及ぼす影響
○山崎安津・薬師寺博・佐藤明彦・河野淳・小林省藏・東暁史・小川一紀（農研機構果樹研）
- P237 酵素剥皮技術を用いたベビーパーシモン生産工程中の微生物的品質
○村上ゆかり・村田雄基・石丸恵・尾崎嘉彦・泉秀実（近畿大生物理工学部）
- P238 「突核無」酵素剥皮加工果実（ベビーパーシモン）の品質について
○野口真己¹・尾崎嘉彦^{1*}・泉秀実²（¹農研機構果樹研,²近畿大生物理工学部）
- P239 花の開花ステージにおける α -アラビノフラノシダーゼ遺伝子の発現
○吉本圭吾¹・立石亮^{1,2}・渡辺慶一^{1,3}・井上弘明^{1,2}
（¹日本大院生物資源科学研究科,²日本大生物資源科学部,³日本大短期大学部）

- P240 塩ストレス下のミニトマトおよび大玉トマトにおけるストレス指標と果実内成分との関連性
○圖師一文^{1*}・梶原慎吾²・松原麻里子²・松添直隆² (¹ 尚絅大短大部, ² 熊本県立大環境共生学部, * 宮崎大農学部)
- P241 収穫後のエタノール蒸気処理による, トマト果実追熟制御機構の解明 (第1報) トマト果実のエチレン生合成に及ぼす影響
○永田優・鈴木康生 (神戸大院農学研究科)
- P242 二酸化炭素濃度の違いが収穫後のカラーピーマンの着色に及ぼす影響
○宮崎清宏・政岡由紀・松本久美 (高知農技セ)
- P243 メロン果実成熟過程におけるエチレンシグナル伝達系遺伝子の発現パターン
○山岡達也・中野龍平・加藤鎌司・久保康隆・牛島幸一郎 (岡山大院環境生命科学研究所)
- P244 貯蔵条件がカットメロンの香气生成に及ぼす影響
○ウェンダコーン S.K.¹・末松伸一¹・上田悦範²・泉秀実³
(¹ 東洋食品工業短大, ² 大阪大谷大人間社会, ³ 近畿大生物理工)
- P245 収穫後のニンニクの乾燥処理が萌芽活性, 酸性ホスファターゼ活性およびくぼみ症の発生に及ぼす影響
上町達也¹・○丸山園加¹・大原愛¹・前野陽子¹・山崎博子²・庭田英子³
(¹ 滋賀県大環境科学部, ² 農研機構東北農研, ³ 青森農総研)
- P246 恒温条件での乾燥温度および期間が氷点下貯蔵後のニンニクの品質に及ぼす影響
○山崎博子¹・庭田英子²・矢野孝喜¹・長菅香織^{1*}・稲本勝彦¹
(¹ 農研機構東北農研, ² 青森産技セ野菜研, * 農研機構野菜茶研)